

元戦車中隊長の模型部屋 第7回

やっと涼しい秋になってきましたね。なかなか暑い夏が終わりませんでした。模型作りも思うようにはかどらず、ペースが落ちてきちゃいました。その代わりに娘達とドライブやショッピングに休日のほとんどを費やし、我が家の防衛費が厳しい状況に・・・(笑)おかげで新しいプラモを買うことができず、悶々としております。もちろん、押し入れには沢山の積みプラがあるんですけどね。さて、今回紹介するのは・・・



九四式六輪自動貨車です。

九四式六輪自動貨車は、大日本帝国陸軍で開発・採用されていたトラックで、自動車工業株式会社（現在のいすゞ自動車）、東京瓦斯電気工業株式会社の車両をベースに開発されたものだそうです。様々な部隊、様々な戦場で使用され、当時の国産車では極めて良好な性能を備えていたのだそうです。キットはファインモールドさんのもので、ほぼストレート組みです。



昔の記録映像に出てきたのを思い出します。どうしても戦争記録映像を見ると戦車や装甲車等の戦闘車両ばかりに目を奪われてしまいがちですが、どの国でも一番使用されたのはこのようなトラックなのではないでしょうか？人員はもちろん、補給品を運ぶ重要な任務を遂行する車両ですからね。

塗装はGS | クレオスの陸軍カーキ色で塗装しました。戦車などの様に迷彩にしなくて良いので楽でしたね(笑)



目立つマークがないので、車体前面の陸軍特有の「金星」が軍用車両らしさを醸し出します。荷台はいたってシンプルですね。昔の記録写真見ると椅子のあるタイプもあるようです。



同スケールの陸上自衛隊の3.1/2tトラックと並べてみました。大きさが違う！運ぶ能力も格段に向上した証拠ですね。

時代を超えて並べることが出来るのも模型ならではの良さです。うーん、とても良いキットなのですが、トラックだけだと物足りないですね・・・

ということで、





この様に、他の火砲などと並べてみたりするともう戦場のワンシーンです！今回はピットロードさんのキットの中から大日本帝国陸軍75mm機動九〇式野砲と並べてみました。満州事変から沖縄戦まで幅広く使われた主力野砲です。せっかくなのでキットの紹介をさせていただきます。



このキットもストレート組みです。戦争映画で見られるように牽引砲は戦闘車両に比べると地味ですが、実際の戦闘では戦車が沢山あるわけではないので、このような牽引砲が戦況を左右することが多かったです。



後方から見た九〇式野砲です。駐退復座装置や閉鎖機の様子が分かります。塗装はGSIクレオスの枯草色を使用しています。基本塗装の後に水彩サクラマットマルチ絵具の黒を食器用洗剤を少し垂らした水で溶いて墨入れしています。



砲兵フィギュアもストレート組みです。やはりフィギュアを設置すると動きが出ます。で、

突撃イ！



また次回！